

医療 教育 福祉

縦割りを乗り越えた

## 暮らしを デザインする

2020

土

2/29

13:00 - 16:00

横浜ラポール

大会議室

今回の  
テーマ

みんなで描こう！

### 障害児が生き生きと過ごせる「卒業後の居場所」

特別支援学校に通っている子どもたちは卒業後、障害区分や程度によって別々の場所で過ごすことが多いのが現状です。社会的にもインクルーシブが重視される中、違うからこそ刺激し合い、育ちあう関係を続けられる居場所があったらいいな…と思いませんか？

このシンポジウムは、そんな夢をかなえようとしている団体「ぴゅあ」の皆さんとの出会いから企画したものです。さあ、子どもたちを真ん中に、多様な立場の人とともに学び、オープンに語り合うことから暮らしのデザインを始めていきましょう！

主催 NPO法人よこはま地域福祉研究センター

共催 横浜重心グループ連絡会 ばざぼネット

後援 横浜市教育委員会

この事業は公益財団法人みずほ福祉女性財団の助成金を受けて実施する事業です。



1部 実践報告

13:00-14:00

重度心身障害児・者と家族で作った  
“NPO法人ぴゅあ”が  
生活介護施設『ぴいす』をつくるまで

NPO法人ぴゅあ 理事 西澤 浩子さん  
理事 近藤 亜美さん  
理事 和田 わか子さん



2013年、静岡特別支援学校の保護者たちが学校卒業後の障害児の居場所を考えるグループを設立。看護・福祉人材育成のための「出前授業」、「フレンドシップ講座」などを開催し、啓発活動を行ってきた。  
念願の医療的ケア、療育のバックアップを備えた生活介護施設「ぴいす」を2020年春開所に向けて準備中。

実施概要

日時	2020年2月29日(土) 13～16時
開場	12時30分
会場	横浜ラポール 大会議室 (横浜市港北区鳥山町1752 2階)
定員	80名(先着)
参加費	500円(資料代) 当センター会員の方は無料 障害者手帳・療育手帳をお持ちの本人は無料
保育	10名(障害児・幼児) 医療ケア応相談 ※2月7日(金)までに直接ご連絡ください。



JR・市営地下鉄新横浜駅 徒歩10分  
新横浜駅前から横浜ラポール行きリフト付き送迎バスあり

2部 基調講演

14:20-14:50

重度心身障害児・者を取り巻く  
環境の変化と制度の変遷について



愛知東邦大学教授 西尾 敦史氏

講師プロフィール

横浜市社会福祉協議会職員を経て、宇都宮短期大学、沖縄大学、静岡福祉大学で福祉関係の研究・教育に携わり、2019年より愛知東邦大学教授

お問合せ・お申込み

NPO法人 よこはま地域福祉研究センター(柿沼・山本)  
お名前、ご所属、電話番号、メールアドレスを明記の上、下記までお申込み下さい。

WEB申込みフォーム	
<a href="http://yresearch-center.jp/benkyo12/">http://yresearch-center.jp/benkyo12/</a>	

TEL 045-228-9117 (月～金 10:00-17:00)  
FAX 045-228-9118  
Eメールの場合: top@yresearch-center.jp

障害児・者の保護者のサロン Candy Lei  
100ネエサンお土産プロジェクト

当日も会場に  
展示されます!

Candy Lei メンバーが制作した「100ネエサン」をご来場者にお届けします!  
「だれもが自分らしく生きる社会」への想いとともにも…



ワークショップ随時開催中  
詳細はこちらのQRコードをご覧ください。



3部 パネルディスカッション

14:55-15:55

これからの重度心身障害児の  
卒業後の居場所を考える  
～自分らしく地域で生きるとは～

西澤 浩子さん (NPO法人ぴゅあ 理事)  
西村 朋美さん (未来の樹あおば 代表)  
相田 泰宏さん (横浜市立上菅田特別支援学校教諭)  
ファシリテーター 吉川 典子 (NPO法人よこはま地域福祉研究センター)  
助言者 西尾 敦史氏 (愛知東邦大学教授)

未来の樹あおば

横浜市北部地域にある特別支援学校・養護学校に通う肢体不自由の子どもたちの親の会。卒業後も人と人との関りを大切に住み慣れた地域で自分らしく生き生きと暮らしてほしいと願い、施設設立に向けて活動している。

FAX申込書

NPO法人よこはま地域福祉研究センター FAX 045-228-9118	お名前	所属
	電話	Eメール
	障害者手帳(有・無) 療育手帳(有・無) 保育希望(有・無)	連絡事項など